

ほかにもあります、こんな施設

浦添グスク・ようどれ館

王の墓・浦添ようどれの内部を復元

【開館時間】午前9時～午後5時

【休館日】月曜日・12月28日～1月3日

※月曜日が祝日の場合は開館

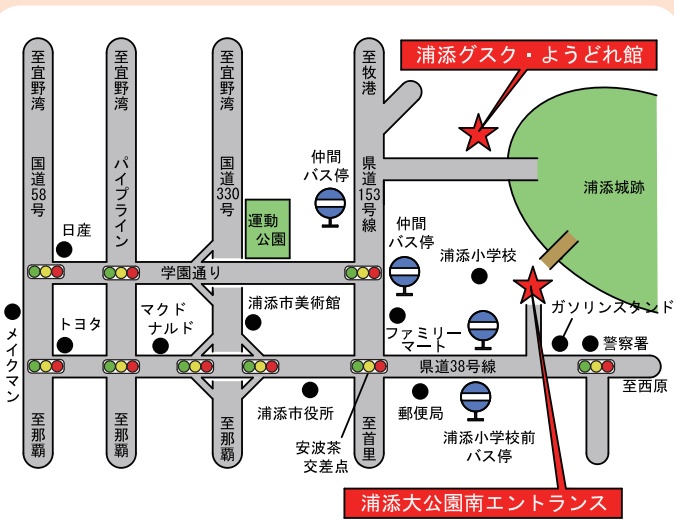
【入館料】大人（高校生以上）100円

小人（小・中学生）50円 ※市内小中学生は無料

【アクセス】バス停「仲間」から徒歩5分、駐車場25台

【所在地】〒901-2103 沖縄県浦添市仲間 2-53-1

【問い合わせ】TEL:098-874-9345



浦添大公園南エントランス 多目的室展示コーナー

浦添グスクの模型や出土品の
レプリカを展示



【開館時間】午前9時～午後5時

【休館日】月曜日・12月28日～1月3日（そのほか臨時休館あり）

※月曜日が祝日の場合は開館

【入館料】無料

【アクセス】バス停「浦添小学校前」から徒歩5分、駐車場30台

【所在地】〒901-2103 沖縄県浦添市仲間 2-53

【問い合わせ】TEL:098-874-9345（浦添グスク・ようどれ館）

利用案内

【開館時間】午前9時30分～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

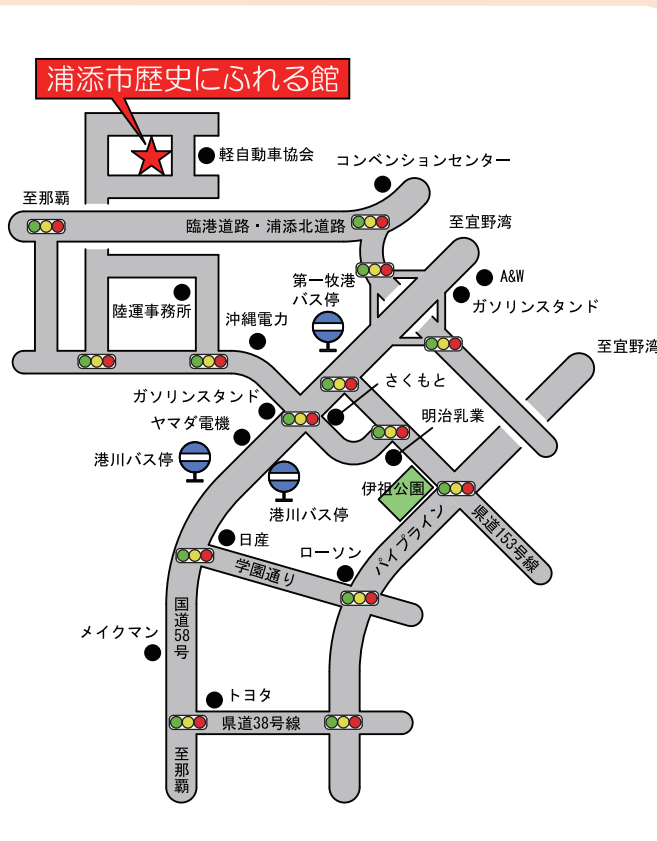
【休館日】土・日曜日、祝日、慰霊の日（6月23日）、
12月28日～1月4日

【入館料】無料

【アクセス】バス（系統23、24、28、120など）「第一牧港」
または「港川」バス下車、徒歩30分
駐車場12台

【所在地】〒901-2134 沖縄県浦添市字港川512-11

【問い合わせ】TEL:098-876-1234（内線6216・6217）
浦添市教育委員会 文化財課



うらそえし 浦添市 れきし 歴史にふれる館 やかた



浦添市教育委員会

展示室で歴史にふれる



市内の遺跡から見つかった出土遺物や、寄贈された民具を時代ごとに展示していて、浦添で育まれた数千年の歴史にふれることができます。

貝塚時代 7000年前頃～9000年前頃

狩猟や採集の時代、浦添では約7000年前の土器を始めとして石や貝を加工した道具や、九州へ運ぶために浦添の豊かな海から集められた貝殻が見つかります。



磨製石斧
(港川採集品)



貝輪
(城間古墓群)



フェンサ下層式土器
(第二下港川遺跡)

古琉球 11世紀前後～17世紀初頭

農耕が始まり、山北・中山・山南の争いを経て琉球王国が誕生した時代、浦添は浦々を襲う（支配する）という意味の「うらおそい」と呼ばれ、中山の中心地として栄えました。

浦添グスクや古集落跡から東アジアの諸国との交易を物語る多くの品々が出土しています。

近代沖縄 19世紀後半～20世紀前半

琉球は1879年に沖縄県になりました。牧港・港川一帯には「マチナト石灰岩」の石切場があり、ここでとれた石材は浦添の特産品でした。沖縄戦では浦添各地で住民を巻き込む激しい戦闘が繰り広げられました。

日本軍の水筒
(前田・経塚
近世墓群)



採石道具とマチナト石灰岩

近世琉球 17世紀初頭～19世紀後半

琉球王国が薩摩藩の支配下に置かれつつも王国として存在した時代、浦添は首里・那覇に近い農村地帯となり多くの墓も造られました。骨を納めていた厨子や一緒に墓に入れられていた品々を展示しています。



いろいろな厨子
(前田・経塚近世墓群)



青磁皿 (内間カンジャーヤーガマ遺跡)



高麗系瓦
(浦添城跡)



民具

明治から昭和の時代にかけて使われた昔なつかしい生活道具などが並びます。道具の名前はウチナーグチで表示していますが、いくつかわかりますか？



豆腐を作る道具

左から

- ・トーフウーキとアジマー
- ・ヒチウーシ
- ・トーフバク

収蔵庫で歴史にふれる



歴史にふれる館では、収蔵庫の一部も見学できます。収蔵数では県内でも随一を誇る近世の厨子甕が所狭しと並べられ、様々な厨子甕の造形に先人たちの深い思いと歴史の迫力を感じることができます。